

第1回福祉医療常任委員会 要点記録										
開閉会日時		平成31年2月12日(火曜日)		開会	9:58		会議場所		別海町議会 委員会室 2	
				閉会	11:58					
委員の出欠		3 番	大内 省吾	出席	4 番	木嶋 悦寛	出席	7 番	今西 和雄	出席
		12 番	戸田 憲悦	出席	13 番	中村 忠士	出席			
出席説明員	福祉部	福祉部長		福祉部次長		福祉課長		介護支援課長		
		河嶋田鶴枝	出席	青柳 茂	出席	干場みゆき	出席	竹中 利哉		
		町民課長		保健課長		老人保健施設事務長		訪問看護ステーション所長		
		青柳 茂	出席	干場 富夫		川畑 智明		磯尾 光子		
		介護支援課主幹		地域包括支援センター長		町民課主幹		町民課主幹		
		高橋 勇樹		九里 富恵		小川 信明		小野 勝彦	出席	
		保健課主幹		老人保健施設主幹		福祉課主査		福祉課主査		
		伊沢 珠美		齊藤 晴美		澤田 憲一		武田 妙子	出席	
		介護支援課主査		居宅介護支援事業所長		地域包括支援センター主査		町民課主査		
		門間 勝司		渡辺 久利		大道 詳子		岩口真紀子		
		町民課主査		保健課主査		保健課主査		母子健康センター主査		
		平下奈津子		畠澤みどり		能登麻奈美		笹村 友子		
	別海病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務課主幹		病院事務課主査		
		大槻 祐二	出席	三戸 俊人	出席	石戸谷友絵	出席	西田 和弘	出席	
委員外の出席		議長	松原 政勝							
事務局職員		事務局長	浦山 吉人	事務局主幹	松本 博史					
傍聴者数		一般	0名	報道関係者	0名	合計	0名			
会議に付した事件及び会議結果など										
発言者		会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。								
委員長 12 番 戸田		9:58 開会								
		開催概要説明								
		出席委員 5名、欠席委員 0名、委員外 議長								
		開会あいさつ								
		【町立別海病院に係る調査】								
委員長 12 番 戸田		議事1 所管事務調査について								
		(1) 別海病院の医師等の確保の状況及び診療体制について								
病院事務長 大槻		内容説明								
		・ 内科医師確保に向けての状況説明								
病院事務課主幹 石戸谷		内容説明								
		・ インフルエンザの状況について								
		2月3日現在 トータル786名(前年237名)								
		上記内訳(診療科等) 小児科206名、内科366名、入院5名、尾岱沼診療所85名、西春別診療所124名								
		上記内訳(種別) A型大半 B月2名								
病院事務課長 三戸		資料により内容説明								
		・ 経営状況について(4~12月分)								
委員長 12 番 戸田		質疑								
委員 4 番 木嶋		・ インフルエンザの患者がふえているが、ワクチンの接種状況は。								
病院事務課主幹 石戸谷		・ 30年度実績1月末現在(診療所受診込み)で5,832人の接種、前年同時期は6,166件の接種となっている。								
		・ 予防接種助成制度の周知状況は。								
委員 4 番 木嶋										

第1回福祉医療常任委員会 要点記録

病院事務課主幹 石戸谷		・ 別海町の住民は、接種費用の助成制度もあるため、比較的認知している と見込まれる。広報、ホームページ、院内掲示により周知している。
委員 4 番 木嶋		・ 助成期間は。
病院事務課主幹 石戸谷		・ 助成の時期は、保健課で設定している。
病院事務長 大槻		・ 11月から1月末となっている。
委員 13 番 中村		・ 助成期間を2月末まで伸ばすと支障があるか。
病院事務長 大槻		・ 所管ではないため推測であるが、流行する前に接種するという考えで助成 期間を決めているのではないか。
委員 13 番 中村		・ 病院としては、助成期間を延長すると支障があるか。
病院事務長 大槻		・ ワクチンの在庫管理上、期間を長くすることで在庫管理が難しくなる。
委員長 12 番 戸田	議事2 その他	
	なし	
	休憩 10:21	
委員長 12 番 戸田	再開 10:30	
	【福祉部に係る調査】	
委員長 12 番 戸田	開会あいさつ	
福祉部長 河嶋	概要説明	
委員長 12 番 戸田	議事1 所管事務調査について	
	(2) 子ども・子育て支援事業計画について	
福祉課長 干場	内容説明	
福祉課主査 武田	資料により詳細説明	
	平成30年度地域子ども・子育て支援事業の進捗状況	
	・ 利用者支援に関する事業 ・ 延長保育事業（時間外保育事業） ・ 放課後児童健全育成事業 ・ 子育て短期支援事業（ショートステイ） ・ 乳幼児全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業） ・ 養育支援訪問事業 ・ 地域子育て支援拠点事業 ・ 一時預かり事業 ・ 病児・病後児保育事業 ・ ファミリー・サポート・センター事業 ・ 妊婦健診事業 ・ 実費徴収に係る補足給付を行う事業（新） ・ 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業（新）	
委員長 12 番 戸田	質疑	
委員 4 番 木嶋	① 子育て短期支援事業について、児童相談所等との連携強化のほか里親 の活用を検討してはどうか。	
	② 虐待問題が社会問題からなくならないが、別海町要保護児童対策協議 会（以下「要対協」という。）の構成メンバーは。また、担当職員のスキルア ップ、他の自治体との連携はどう考えるか。	
	③ 養育支援訪問事業について、要対協が対応した件数は。	
	④ 病児・病後児保育事業について、インフルエンザによる学級閉鎖時はもち ろんのこと、兄弟がインフルエンザを罹患することにより、兄弟を預かってほしいと いうニーズもある。この問題をどう考えているか。	

第1回福祉医療常任委員会 要点記録

福祉課長	干場	① 児童相談所と協議しながら進めたい。資料の実績1件は、児童相談所の対応によるものである。
		② 構成メンバーは、学校関係者や民生委員など、教育・福祉・保健関係者で構成されている。
		③ 実績は3件である。
		④ 園児が登園を控えたり、学校で通学を控えるのと同様で、預かり施設でも同じ認識で対応するものと考えている。
委員	4 番 木嶋	① 里親の把握が大変であるが、今後検討していただきたい。
		④ 私も施設を運営していると、次から次へといろいろなケースが生じる。ファミリー・サポート・センター事業による対応など、早急な対策をお願いしたい。家族の誰かがインフルエンザなどに罹患したら、どこに子供を預けたらよいか相談できる体制づくりを。
福祉課長	干場	④ ファミリー・サポート・センター事業については、今後研修を予定しているが、病児などの預かりについては有資格者が必要であり、総体的に検討したい。
委員	13 番 中村	① 放課後児童健全育成事業の実績数について、中春別地区の預かりの数は含まれているか。
		② 同じく放課後児童クラブについて、地域のニーズは把握しているか。
		③ 乳幼児全戸訪問事業は、別海町が誇るすぐれた事業と理解している。30年度の確保の方策を121人と見込んでいるが、実績が98人となっている。この差の説明を。
		④ 一時預かり事業について、確保の方策と実績の差異の理由は。
		⑤ 病児・病後児保育事業について、「事業実施の方向性を検討する」との説明であったが、現在の協議の状況は。
福祉課主査	武田	① 中春別地区を含んでおり、その実績は、低学年については中央児童館の2クラブで138人、西児童館の1クラブで27人、中春別のクラブが32人、高学年については、中央児童館の2クラブで5名、中春別のクラブが5名となっている。
福祉課長	干場	② 特に、要望は伺っていないが、次期計画策定にあたってのアンケート調査などによってニーズを把握していく考えである。
		③ 1月18日時点の実績であるため、確保の方策の数値とは開きがある。
		④ 幼稚園型、保育園型の認定こども園の受け入れによってカバーされており、数字の乖離となっている。
		⑤ ファミリー・サポート・センター事業の強化を念頭に取り組む考えである。
委員	13 番 中村	④ 確保の方策に140人と記載されているが、ニーズがあるのか、ほかのサービスで救えるのか、ほかのサービスで救えるとしたら何人なのかなど、もう少し説明を。そもそも在園児以外の事業を町民の方がどれだけ認知されているのかなという感じがしている。
福祉部長	河嶋	④ 計画時に140人としていたが、在園児以外の一時的預かりについては、助産師、保健師から情報が寄せられたため、事業でカバーする予定であったが、実績は少ない。ただいま、詳しい数字は持ち合わせていない。ファミリー・サポート・センター事業は、チラシや検診時に口頭で周知しているが、利用していただけていない。31年度から、地区ごとに研修会をふやすことを検討していたところである。
委員	7 番 今西	① 限られた予算、人による事業展開かと思うので、課題を町民に伝えながら事業展開をしてはいかかが。

第1回福祉医療常任委員会 要点記録

		② 議会報告会では、「子育てのしやすいまち」との声もあり、計画に「連携」という言葉もあるが、どこどこが連携するのかなど、より具体的に記載するとわかりやすい計画になるのではないかな。
福祉課長	干場	① 意見を参考にしたい。
		② 「子育て支援ハンドブック」を活用して、周知していきたい。ホームページになるべくわかりやすく掲載し、周知していきたい。
福祉課長	干場	幼児教育無償化制度について概要説明
福祉課主査	武田	幼児教育無償化制度について資料により内容説明
福祉部長	河嶋	補足説明
		・ 現在、制度の詳細が国から通知されていないが、制度の内容を見極めて、町独自の支援策が後退しないよう計画していきたい。
委員長 12 番	戸田	(3) 一般廃棄物処理基本計画について
福祉部次長	青柳	内容説明
		・ 一般廃棄物処理基本計画は、ごみ処理基本計画と生活排水処理基本計画の2つの計画の組み合わせとなるが、本日は、福祉部所管分のごみ処理基本計画について説明する。
町民課主幹	小野	資料により詳細説明
		第1編 総論
		第1章 一般廃棄物処理基本計画の基本的事項
		第1節 ごみ処理基本計画の背景と目的
		第2節 計画期間
		第3節 計画の性格と位置づけ
		第2編 ごみ処理基本計画
		第1章 ごみ処理の現状と課題
		第1節 ごみ処理の現状
		第2節 ごみ排出量の実績及び性状
		第3節 ごみ処理体制と処理の実績
		第4節 ごみ処理の施策
		第5節 ごみ処理の評価
		第6節 ごみ処理関連法
		第7節 ごみ処理の課題
		第2章 ごみ処理基本計画
		第1節 基本理念
		第2節 基本方針
		第3節 ごみ発生量及び処理量の目標
		第4節 ごみの排出抑制のための方針に関する事項
		第5節 環境方針に基づく今後の取り組み
		第6節 分別して収集するものとしたごみの種類及び分別の区分
		第7節 ごみの適正な処理に関する基本的事項
		第8節 その他ごみ処理に関し必要な事項
委員長 12 番	戸田	質疑
委員 3 番	大内	・ リサイクルしたものの行方を町民に周知するよう計画に盛り込むべきではないかな。
		・ 計画の中には載せていないが、ご意見については、広報等で周知することで、分別意識が高まることにつながるため検討していきたい。
福祉部次長	青柳	
委員長 12 番	戸田	議事2 その他

第1回福祉医療常任委員会 要点記録

なし

委員長 12 番 戸田

11:58 閉会